

2013年2月20日 全7頁

Indicators Update

1月貿易統計

輸出は下げ止まるも、やや物足りない印象

経済調査部
エコノミスト 橋本政彦

[要約]

- 2013年1月の貿易統計では、輸出金額は前年比+6.4%と、8ヶ月ぶりの増加に転じ、市場コンセンサス（同+5.6%）を上回った。輸出金額を季節調整値で見ても前月比+3.6%と3ヶ月連続の増加となっており、輸出は下げ止まりつつあると言える。ただし、輸出数量は同▲6.0%と前年割れが続いている。鉱工業生産等の国内景気は輸出数量との連動性が高いことに鑑みると、国内景気を牽引する程には輸出の回復が進んでいない印象である。
- 輸出数量指数（大和総研による季節調整値）を地域別に見ると、米国向けが2ヶ月連続の増加となったものの、アジア向けは前月から横ばい、EU向けが減少したことから、全体としては前月比▲2.4%と2ヶ月ぶりの減少となった。均して見ると米国向け、アジア向けでは持ち直しの動きが見られるものの、EU向けの減少が全体の足を引っ張っている格好である。
- 1月の輸入金額は、前年比+7.3%と3ヶ月連続で前年を上回った。急激な円安によって輸入価格が同+8.4%と大幅に上昇したことが輸入金額を押し上げた。この結果、貿易収支は▲1兆6,294億円と7ヶ月連続の赤字となり、赤字幅は過去最大となった。ただし、貿易収支を季節調整値で見ると、1月は▲6,789億円となり、赤字幅は2ヶ月連続で縮小した。LNG等のエネルギーの輸入数量の高止まりから貿易収支の赤字傾向が定着しているものの、赤字幅の拡大にはこのところ歯止めがかかりつつある。

貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2012年									2013年
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
輸出金額	10.0	▲2.3	▲8.1	▲5.8	▲10.3	▲6.5	▲4.1	▲5.8	6.4	
コンセンサス									5.6	
DIR予想									3.8	
輸入金額	9.4	▲2.2	2.2	▲5.3	4.2	▲1.5	0.9	1.9	7.3	
輸出数量	9.3	▲2.3	▲10.2	▲4.2	▲11.1	▲8.1	▲7.5	▲12.2	▲6.0	
価格	0.6	0.1	2.4	▲1.6	0.9	1.7	3.6	7.3	13.1	
輸入数量	8.5	▲0.7	7.0	▲2.1	4.2	▲1.0	▲0.9	0.0	▲1.0	
価格	0.9	▲1.5	▲4.5	▲3.3	▲0.1	▲0.5	1.9	1.8	8.4	
貿易収支	▲9,172	592	▲5,226	▲7,638	▲5,649	▲5,546	▲9,565	▲6,433	▲16,294	

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

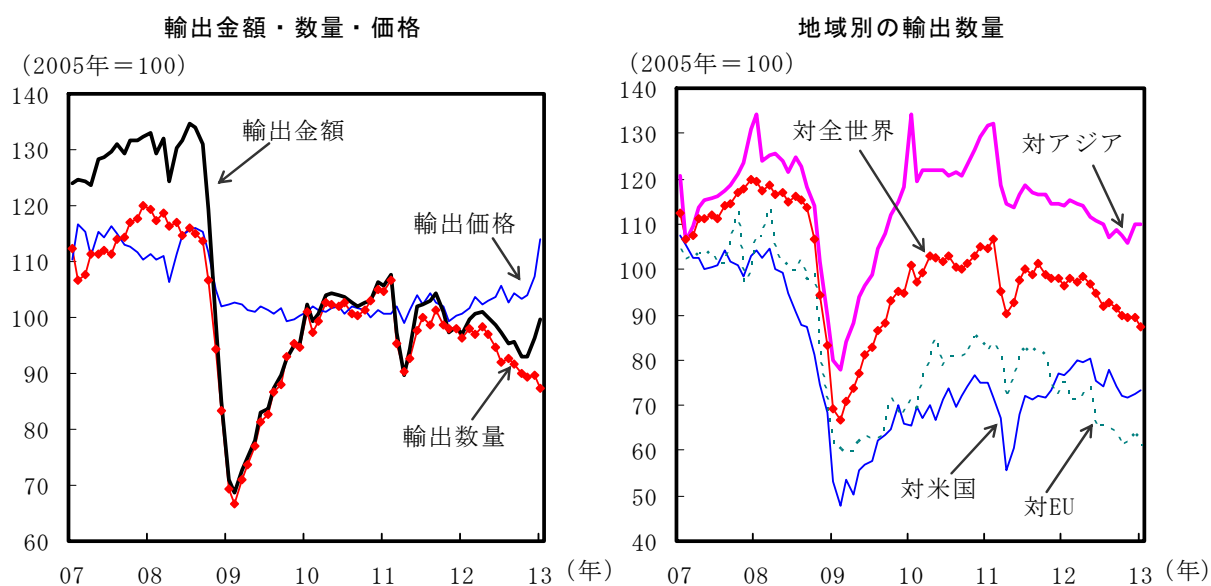
価格の上昇が輸出金額を押し上げ

2013年1月の貿易統計では、輸出金額は前年比+6.4%と、8ヶ月ぶりの増加に転じ、市場コンセンサス（同+5.6%）を上回った。輸出金額を季節調整値で見ても前月比+3.6%と3ヶ月連続の増加となっており、輸出は下げ止まりつつあると言える。ただし、輸出金額の内訳を見ると、円安の効果もあり輸出価格が前年比+13.1%と大幅に上昇する一方で、輸出数量は同▲6.0%と前年割れが続いている。鉱工業生産等の国内景気は輸出数量との連動性が高いことに鑑みると、国内景気を牽引する程には輸出の回復が進んでいない印象である。

輸出数量指数（大和総研による季節調整値）を地域別に見ると、米国向けが2ヶ月連続の増加となったものの、アジア向けは前月から横ばい、EU向けが減少したことから、全体としては前月比▲2.4%と2ヶ月ぶりの減少となった。均して見ると米国向け、アジア向けでは持ち直しの動きが見られるものの、EU向けの減少が全体の足を引っ張っている格好である。

1月の輸入金額は、前年比+7.3%と3ヶ月連続で前年を上回った。輸入数量は前年比▲1.0%と減少したものの、急激な円安によって輸入価格が同+8.4%と大幅に上昇したことが輸入金額を押し上げた。この結果、貿易収支は▲1兆6,294億円と7ヶ月連続の赤字となり、赤字幅は過去最大となった。ただし、1月は輸出金額が小さく、輸入金額が大きいという季節性があることには注意が必要である。貿易収支を季節調整値で見ると、1月は▲6,789億円となり、赤字幅は2ヶ月連続で縮小した。LNG等のエネルギーの輸入数量の高止まりから貿易収支の赤字傾向が定着しているものの、赤字幅の拡大にはこのところ歯止めがかかりつつある。

輸出金額・価格・数量と地域別輸出数量の推移（季節調整値）



(注) 季節調整は「輸出金額」が財務省、他は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

前年比の輸出金額は 8 ヶ月ぶりの増加

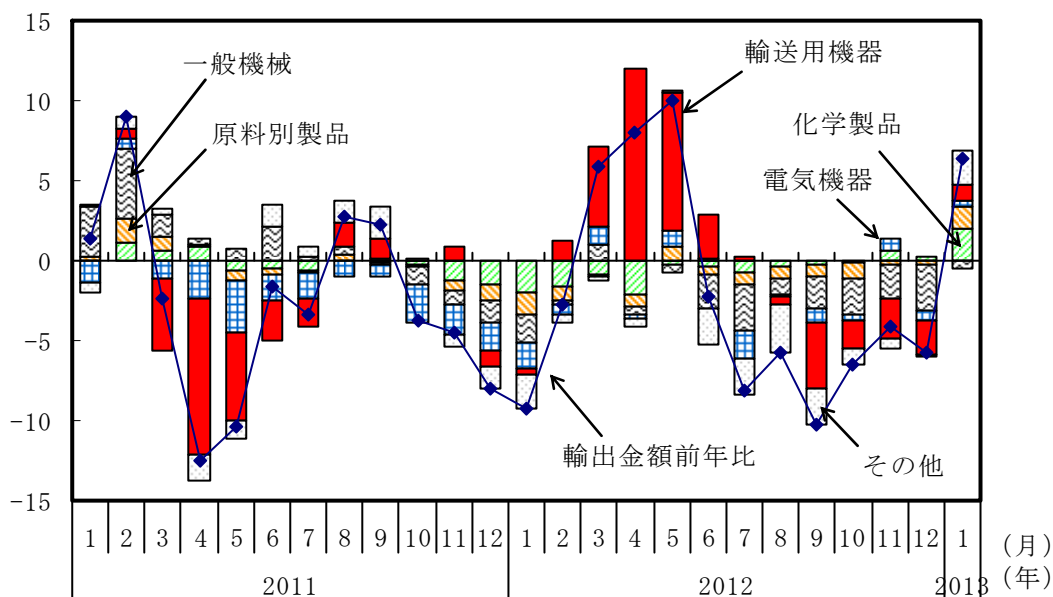
輸出金額（前年比）を主要商品別にみると、化学製品、輸送用機器の増加が輸出金額を押し上げた。

化学製品は前年比+20.2%と 3 ヶ月連続の増加となった。主要輸出先であるアジア向けが前年比+23.8%と大幅に増加したことが全体を押し上げた。なかでも中国向けが同+38.9%と大きく増加しているが、これは 2012 年の春節が 1 月であったのに対し、2013 年の春節は 2 月であるというカレンダー要因によるところが大きいとみられる。ASEAN、NIEs といった他のアジア地域向けの輸出も増加幅が大きく拡大しているが、こちらに関しても中国の春節の影響を受けているとみられ、やや割り引いて見る必要があるだろう。ただし、米国向けや EU 向けの輸出も軒並み増加しており、化学製品の輸出は全般的に持ち直しつつあるといえる。

輸送用機器は、前年比+3.5%と 6 ヶ月ぶりに前年を上回った。主要輸出先である米国向けが、前年比+16.0%と増加したことに加え、ASEAN 向け（同+10.5%）、中東向け（同+13.2%）、ロシア向け（同+32.0%）の増加が押し上げに寄与した。EU 向けは、同▲10.6%と、依然減少が続いているものの、減少幅は縮小傾向となっている。昨年の中国国内での反日デモ以降、低迷が続いている中国向けは、前年比▲36.0%と前月から減少幅が縮小したものの、春節による前年の水準の低さを考慮すると、非常に緩やかな改善に留まっている。

輸出金額の商品別内訳

(前年比、%、%pt)



(注) その他は「食料品」、「鉱物性燃料」、「原料品」、「その他」の合計。

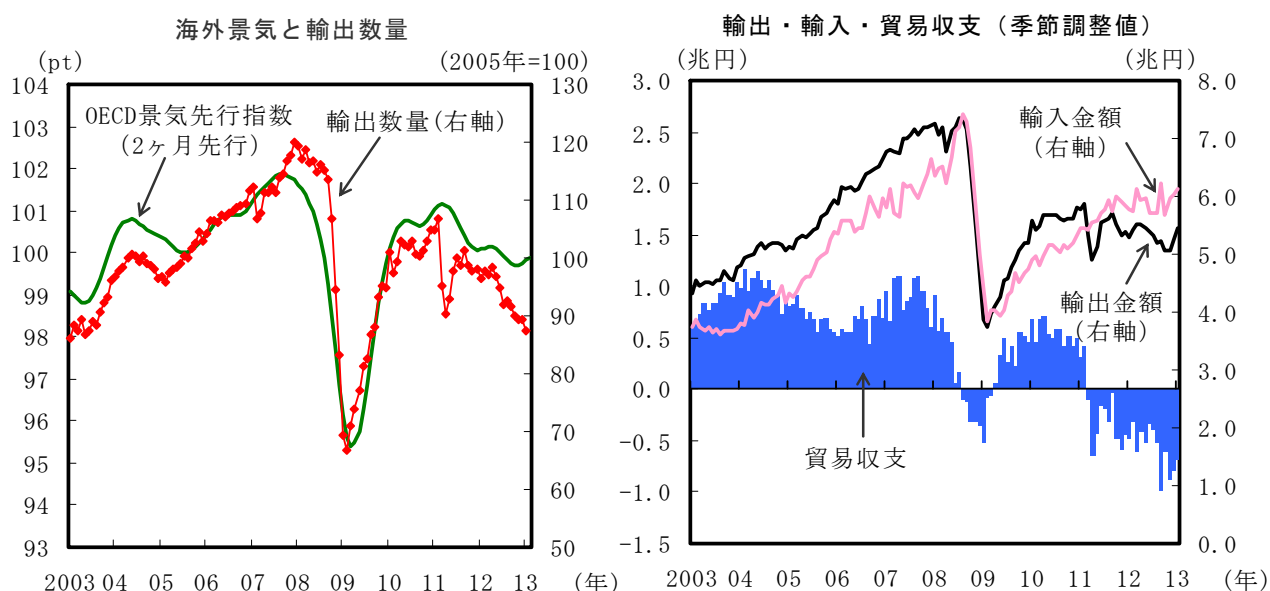
(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出は増加傾向へ、貿易収支は赤字傾向続くも徐々に縮小の公算

輸出の先行きに関しては、このところの円安による価格競争力の改善と海外経済の回復によって、次第に輸出数量が増加傾向に向かうと見込んでいる。今回見られたように、景気停滞が続く EU 向け輸出は当面低調に推移する見込みだが、緩やかな景気拡大が続く米国向けと、足下で景気改善の動きが見られるアジア向けが牽引役となるだろう。

輸入に関しては、横ばい圏での推移が続いているが、国内景気の回復による輸入数量の増加によって、再び増加傾向となるとみられる。円安による輸入物価の上昇によって、短期的には貿易赤字は拡大する可能性があるが、輸出数量が増加するのに伴って、赤字幅は徐々に縮小していくと見込んでいる。

海外景気と輸出数量、貿易収支



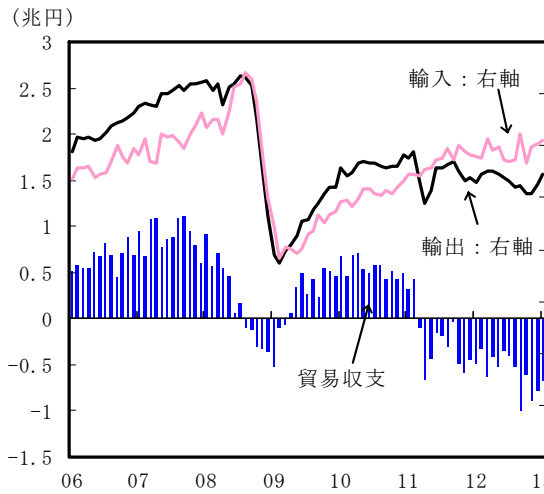
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

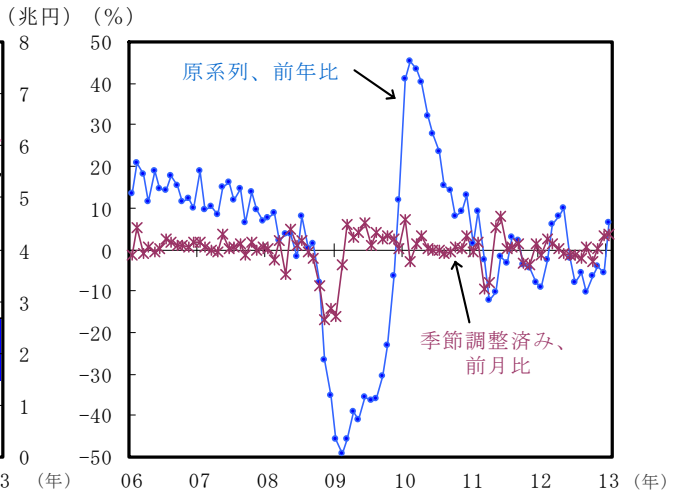
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

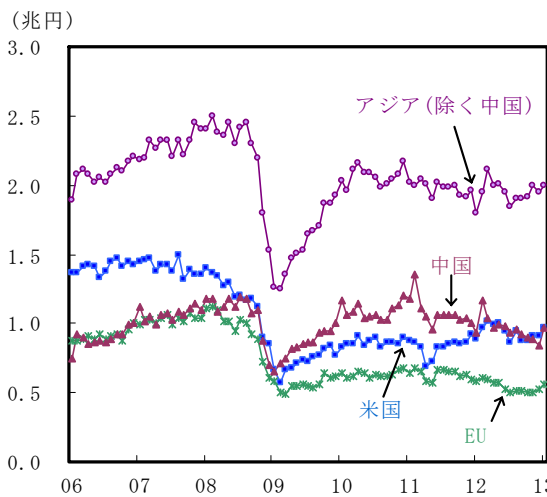


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）

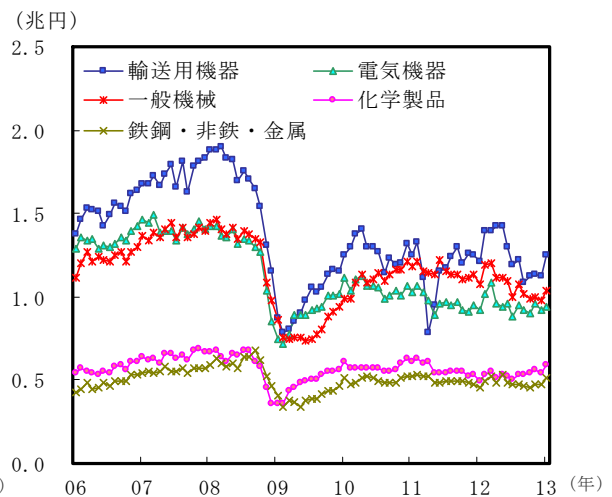


主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

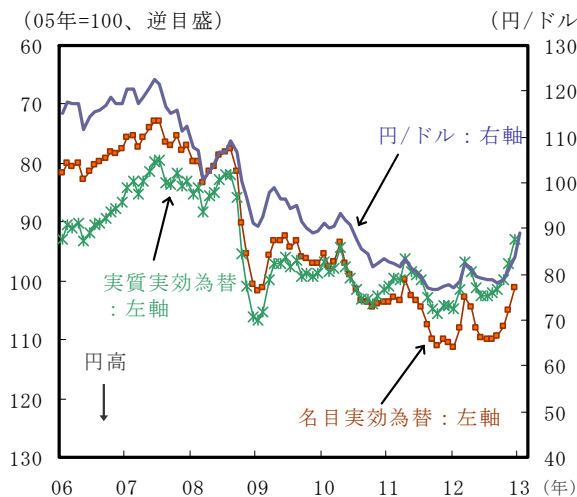


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）

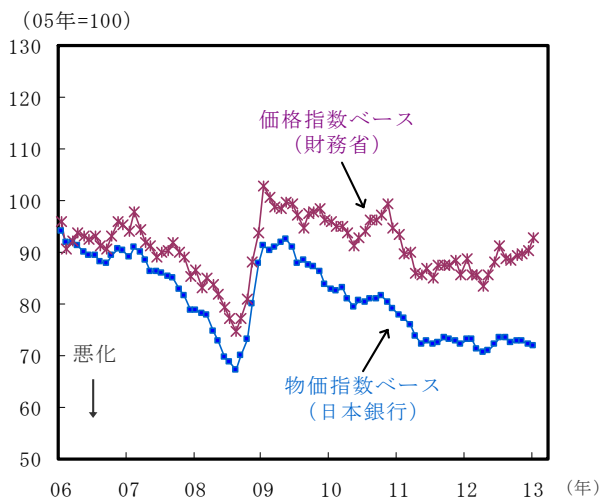


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2012/08	2012/09	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲5.8	▲10.3	▲6.5	▲4.1	▲5.8	6.4	100.0	6.4
食料品	8.3	10.3	11.0	1.4	▲3.5	27.3	0.6	0.1
原料品	▲3.9	▲2.7	22.1	10.3	18.9	25.3	1.8	0.4
鉱物性燃料	▲31.7	▲15.0	▲31.5	▲9.9	6.2	14.3	1.6	0.2
化学製品	▲3.4	▲2.9	▲1.7	6.5	2.6	20.2	11.4	2.0
原料別製品	▲5.7	▲5.7	▲7.2	▲2.4	▲2.1	10.6	13.3	1.3
鉄鋼	▲8.3	▲6.5	▲9.7	▲4.3	▲1.6	3.1	5.6	0.2
非鉄金属	▲10.3	▲11.4	▲8.6	4.7	7.5	38.6	2.3	0.7
金属製品	9.8	3.1	▲1.0	3.4	▲1.9	13.2	1.5	0.2
一般機械	▲5.1	▲10.5	▲11.3	▲10.3	▲13.3	▲2.7	18.1	▲0.5
電気機器	▲0.8	▲5.3	▲2.4	4.6	▲3.3	2.4	16.2	0.4
半導体等電子部品	▲3.4	▲7.8	4.1	8.5	▲4.5	1.2	5.0	0.1
IC	▲3.0	▲7.4	10.0	9.3	▲3.9	3.8	3.5	0.1
映像記録・再生機器	▲6.8	2.6	▲11.9	40.7	▲2.1	▲23.6	0.7	▲0.2
音響・映像機器の部分品	10.8	▲19.6	0.1	8.1	2.8	▲2.4	0.5	▲0.0
電気回路等の機器	▲3.1	▲7.2	▲3.1	0.6	▲2.4	▲0.4	2.3	▲0.0
輸送用機器	▲2.2	▲16.6	▲7.2	▲10.1	▲9.5	3.5	25.0	0.9
自動車	▲1.8	▲14.7	▲12.3	▲5.2	▲6.6	2.1	14.2	0.3
自動車の部分品	8.8	▲6.4	▲0.8	▲2.5	▲7.3	15.9	4.9	0.7
その他	▲16.7	▲15.5	▲5.8	▲4.7	▲4.0	13.3	12.0	1.5
科学光学機器	2.1	▲1.2	▲1.5	0.2	▲0.5	9.8	3.1	0.3

米国向け輸出金額 内訳								
	2012/08	2012/09	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	10.3	0.9	3.1	5.3	▲0.8	10.9	100.0	10.9
食料品	▲6.6	13.1	▲2.9	23.8	1.7	12.2	0.4	0.1
原料品	13.8	23.6	▲6.7	62.5	105.1	▲39.6	0.4	▲0.3
鉱物性燃料	▲52.3	2337.5	▲49.0	▲88.3	15.8	▲2.6	0.1	▲0.0
化学製品	6.8	▲2.0	▲4.4	9.0	0.6	16.7	5.9	0.9
原料別製品	12.8	3.3	6.8	▲4.1	▲4.5	12.9	7.3	0.9
鉄鋼	6.4	10.2	11.6	▲21.5	▲8.2	▲2.5	2.2	▲0.1
非鉄金属	30.1	9.9	9.4	▲7.2	▲30.8	10.8	0.5	0.1
金属製品	26.0	1.1	10.2	11.9	14.7	29.0	1.7	0.4
一般機械	18.4	5.8	2.5	0.8	▲6.7	4.4	23.2	1.1
電気機器	19.0	2.9	▲1.4	13.5	7.4	10.5	14.8	1.6
半導体等電子部品	6.1	▲17.0	▲4.0	4.8	▲1.5	4.1	2.0	0.1
IC	▲7.1	▲25.3	▲7.1	▲1.8	1.4	20.4	1.2	0.2
映像記録・再生機器	10.4	▲10.1	▲9.8	12.3	▲14.8	▲11.0	1.0	▲0.1
音響・映像機器の部分品	73.8	▲11.9	▲16.9	▲16.3	▲1.4	▲25.0	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	27.7	8.2	6.4	5.5	18.3	16.1	1.6	0.2
輸送用機器	7.6	▲4.8	7.9	9.6	▲0.0	16.0	39.3	6.0
自動車	▲1.4	▲7.3	4.8	5.2	▲1.3	10.5	27.6	2.9
自動車の部分品	39.5	▲1.0	7.6	25.9	▲1.5	29.9	7.2	1.8
その他	0.3	▲7.8	1.2	▲3.4	▲3.3	6.8	8.6	0.6
科学光学機器	6.1	▲0.9	▲20.2	▲6.5	▲11.8	7.3	2.1	0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2012/08	2012/09	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲22.9	▲21.1	▲20.1	▲19.9	▲11.1	▲4.5	100.0	▲4.5
食料品	4.6	▲15.3	▲0.6	▲9.9	▲7.2	22.9	0.2	0.0
原料品	▲4.6	▲20.3	55.0	▲13.4	5.5	17.6	1.3	0.2
鉱物性燃料	31.5	114.0	21.1	▲4.6	▲14.7	374.7	0.3	0.2
化学製品	▲9.8	▲7.6	▲15.7	▲8.0	▲9.1	0.5	9.4	0.0
原料別製品	▲22.8	▲19.0	▲12.7	▲12.3	▲4.4	▲9.0	7.3	▲0.7
鉄鋼	▲44.9	▲25.7	▲4.7	▲26.4	27.8	▲36.6	0.7	▲0.4
非鉄金属	▲19.9	▲25.6	11.6	13.3	▲18.3	▲19.1	1.4	▲0.3
金属製品	▲2.3	▲3.8	15.9	8.8	15.2	20.8	1.6	0.3
一般機械	▲20.4	▲20.2	▲14.8	▲16.9	▲15.2	2.7	26.1	0.7
電気機器	▲15.5	▲14.7	▲15.6	▲1.3	▲2.2	▲1.4	17.9	▲0.2
半導体等電子部品	▲28.9	▲29.6	▲37.0	▲25.7	▲9.6	0.5	2.6	0.0
IC	▲8.6	▲1.3	▲18.5	▲16.5	▲2.1	17.8	1.6	0.2
映像記録・再生機器	5.5	22.6	0.5	43.7	27.2	▲30.8	1.2	▲0.5
音響・映像機器の部分品	23.6	29.0	13.2	47.7	40.5	45.5	0.6	0.2
電気回路等の機器	▲17.6	▲17.5	▲17.4	▲3.0	▲7.1	4.7	1.7	0.1
輸送用機器	▲33.6	▲35.5	▲34.7	▲34.6	▲18.1	▲10.6	22.9	▲2.6
自動車	▲37.5	▲43.1	▲43.6	▲21.4	▲34.8	▲10.8	10.8	▲1.2
自動車の部分品	▲12.1	▲15.3	▲3.1	▲14.5	▲10.6	9.5	6.5	0.5
その他	▲29.3	▲16.1	▲20.5	▲28.9	▲9.7	▲13.2	14.7	▲2.1
科学光学機器	▲16.5	▲20.4	▲31.1	▲21.0	▲17.9	▲9.4	3.3	▲0.3

アジア向け輸出金額 内訳								
	2012/08	2012/09	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.8	▲8.3	▲5.0	▲2.5	▲5.7	8.4	100.0	8.4
食料品	10.3	12.9	12.6	▲5.0	▲2.9	31.1	0.8	0.2
原料品	▲5.4	▲0.1	23.0	12.6	15.3	34.1	2.8	0.8
鉱物性燃料	▲33.1	▲22.5	▲23.4	▲5.5	1.8	25.2	2.4	0.5
化学製品	▲4.5	▲3.2	▲0.3	8.3	5.4	23.8	16.2	3.4
原料別製品	▲6.9	▲7.2	▲11.6	▲1.2	▲0.0	13.7	17.4	2.3
鉄鋼	▲7.6	▲8.6	▲16.1	▲0.7	1.7	7.8	8.0	0.6
非鉄金属	▲14.1	▲11.4	▲14.7	3.3	6.1	43.7	3.6	1.2
金属製品	7.4	2.6	▲6.7	▲0.3	▲7.4	7.4	1.7	0.1
一般機械	▲8.7	▲12.8	▲12.0	▲14.1	▲14.8	▲6.6	16.9	▲1.3
電気機器	▲1.6	▲5.0	0.6	4.4	▲5.7	1.6	20.2	0.3
半導体等電子部品	▲2.3	▲5.9	8.9	11.4	▲4.4	1.4	8.0	0.1
I C	▲2.5	▲6.4	12.9	11.3	▲4.5	2.1	5.7	0.1
映像記録・再生機器	▲14.9	10.2	▲13.2	60.6	▲2.8	▲21.7	0.7	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲10.0	▲28.5	▲11.4	3.4	▲11.3	▲17.0	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	▲4.3	▲7.5	▲1.5	0.4	▲5.4	▲3.6	3.2	▲0.1
輸送用機器	▲6.9	▲17.0	▲14.2	▲23.4	▲24.8	▲8.9	8.3	▲0.9
自動車	▲1.1	▲14.6	▲31.5	▲35.0	▲23.2	▲18.7	3.4	▲0.8
自動車の部分品	1.4	▲9.6	▲9.6	▲15.3	▲12.6	9.6	3.8	0.4
その他	▲9.0	▲6.5	5.2	6.3	▲0.2	23.6	14.8	3.1
科学光学機器	3.9	2.6	8.9	6.6	5.1	18.2	4.1	0.7

中国向け輸出金額 内訳								
	2012/08	2012/09	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲9.9	▲14.1	▲11.6	▲14.5	▲15.8	3.0	100.0	3.0
食料品	40.8	100.7	49.4	▲28.9	▲19.9	▲11.3	0.2	▲0.0
原料品	▲16.8	▲7.6	26.7	14.1	18.8	43.3	4.8	1.5
鉱物性燃料	35.3	7.0	▲8.5	0.9	▲54.1	▲19.3	1.1	▲0.3
化学製品	▲7.4	▲3.7	3.8	3.9	▲0.1	38.9	18.9	5.4
原料別製品	▲13.8	▲12.5	▲17.6	▲19.2	▲12.9	6.5	14.0	0.9
鉄鋼	▲20.7	▲19.7	▲23.9	▲27.2	▲26.7	▲17.6	4.3	▲0.9
非鉄金属	▲17.4	▲9.3	▲27.8	▲18.5	11.4	59.2	4.0	1.5
金属製品	1.6	1.3	▲5.4	▲20.6	▲22.8	▲2.8	1.6	▲0.0
一般機械	▲16.7	▲29.1	▲20.3	▲24.5	▲22.3	▲10.4	17.8	▲2.1
電気機器	▲8.0	▲6.7	▲2.0	▲7.1	▲16.8	▲5.2	22.1	▲1.2
半導体等電子部品	▲5.8	▲9.6	11.4	3.4	▲19.1	▲4.9	9.0	▲0.5
I C	▲13.3	▲12.9	16.7	▲1.2	▲23.8	▲9.5	6.5	▲0.7
映像記録・再生機器	▲12.6	27.3	▲22.2	51.3	▲23.9	▲42.4	0.8	▲0.6
音響・映像機器の部分品	▲15.7	▲27.5	▲15.5	▲2.6	▲8.4	▲2.5	0.8	▲0.0
電気回路等の機器	▲12.7	▲8.6	▲9.5	▲15.6	▲14.0	▲9.9	3.4	▲0.4
輸送用機器	▲14.0	▲32.1	▲54.1	▲55.4	▲47.5	▲36.0	6.9	▲4.0
自動車	▲13.2	▲44.5	▲82.0	▲68.6	▲52.8	▲60.4	2.1	▲3.3
自動車の部分品	▲11.4	▲17.5	▲28.1	▲43.5	▲42.8	▲12.7	4.7	▲0.7
その他	1.5	▲2.0	7.0	6.7	▲3.0	24.4	14.1	2.9
科学光学機器	9.4	2.6	4.2	3.3	7.6	27.3	6.6	1.5